

2020,6月号

ハノイ日本人学校 学校便り

こころの道

令和2年6月1日

Nhan hoi Thong minh Khoe manh



マスコットキャラクター
「ハッチー」

やさしく

ニャンハオ

かしこく

トウオンミン

たくましく

ホェエメイン

本文はユニバーサルデザ
インの書体を利用します。

蛙（かわず）

明石 清二

沖縄では、梅雨入りのニュースが報じられています。

雨に連想されます一つが、蛙です。「井の中の蛙、大海を知らず」確かにそのとおりです。狭い世界で生きるとは、当然のことながら視野が広がりませんし、物の見方に融通が利きません。これでは、本人ばかりでなく、周囲の向上も期待できなくなります。物事の本質を見極めることなく、ただ、目の前にある現象にだけ目を向けているとしたら、社会にとっても大変大きな損失です。是非、広い視野に立ち、相手の気持ちにより添い、顔を上げて歩いていきたいものです。

この「井の中の蛙、大海を知らず」の句ですが、実は続きもあります。

「井の中の蛙、大海を知らず。されど天の高きを知る。」というくだりです。言い得て妙。

蛙は、狭い世界から見ているかもしれませんが、常に天を眺めて鳴いているので、延々と深まる天の奥行きを感じ取っているというのです。この言葉を知ったとき、正に青天の霹靂であり、「なるほど」と感じ入りました。このことに気付くこと自体が、視野の広がりであり、物の多面的な見方であると思いました。

「カエル」そのものに目を転じてみます。

数種類のカエルは、気温が下がると地面に穴を掘って潜ります。やがて体内の水分が凍り始め、心臓の鼓動は遅くなり、呼吸が止まるそうです。この状態は気温が上昇するまで続くとのこと。

いったい「呼吸が止まる」とは、どういうことなのでしょう。肺呼吸が止まり皮膚呼吸が続いているということなのでしょう。気温が上昇しない場合、どのくらいの期間、生きていられるのでしょうか。調べる課題が増えました。

オタマジャクシは、成長するにつれ四肢が生え、尾が縮んで成体となります。オタマジャクシの時期は、えら呼吸であり、成体になると肺呼吸と皮膚呼吸に変わります。大人になる準備をしかるべき時にきっちりと行い、いずれ独り立ちする姿に学びたいと思いました。

教育をオタマジャクシに置き換えるとは何事かとお叱りを受けそうですが、義務教育 9 年の間に身に付けさせることをしっかりと習得させ、相手の気持ちを理解できる青年に育てたいと願います。厳しい状況が続く、系統立てたしっかりとした教育活動を行うことができず、思いだけが先走り、子供たちに辛い思いをさせています。今、できることを再考し、今、できる最善の道を模索して参ります。

私の願いは、1 日も早く全校生を登校させることです。御面倒をお掛けいたしますが、なにとぞお力添えを賜りたくお願い申し上げます。

※裏面に 6 月 1 日現在の在籍状況を提示しました。

令和2年度ハノイ日本人学校児童生徒数（6月1日 現在）

学年	男子	女子	学年合計	一時帰国者	在国	家庭数	備考
1年	34	26	60	5	55	29	
2年	36	33	69	11	58	38	
3年	32	33	65	13	52	35	
4年	35	29	64	5	59	43	
5年	37	20	57	14	43	33	
6年	18	29	47	8	39	35	
小学部合計	192	170	362	56	306	211	
中1	17	9	26	3	23	20	
中2	16	13	29	3	26	27	
中3	12	7	19	4	15	19	
中学部合計	45	29	74	10	64	66	
全校合計	237	199	436	66	370	277	